

# バンコク都高校生訪問団受入事業 実施結果報告書



受入期間：令和5年5月12日（金） - 18日（木）

愛知県政策企画局国際課

# 報告書目次

1	バンコク都高校生訪問団一行名簿	1
2	全体行程	2
3	行程の詳細	
(1)	1日目(5月12日(金))	3
	来日	
	オリエンテーション	
	名古屋大学(タイ人留学生との交流、学内見学、大学説明)	
	副知事表敬	
(2)	2日目(5月13日(土))	5
	日泰寺	
	大須観音、大須商店街散策	
	愛知県高校生との英語ディスカッション	
(3)	3日目(5月14日(日))	6
	ホームビジット	
(4)	4日目(5月15日(月))	6
	愛知県立一宮西高等学校	
(5)	5日目(5月16日(火))	9
	国際連合地域開発センター	
	トヨタ会館	
	株式会社メイドー	
(6)	6日目(5月17日(水))	7
	もりの学舎	
	ジブリパーク	
(7)	7日目(5月18日(木))	10
	帰国	
(参考)	参加者アンケート(まとめ)	11

# 1 バンコク都高校生訪問団一行名簿

## ◆高校生(13名)

名前	読み
Mr. Tanakorn Plodpai	タナコーン・プロッドパイ
Mr. Wasuwee Saiyud	ワスウィー・サイユッド
Mr. Korkhun Phanphitthayut	コークン・パンピタユット
Mr. Amolnut Didthalucksana	アモンヌット・ディッタルックサナ
Mr. Siwakorn Maiseaumsook	シワコーン・マイシアウムスーク
Mr. Nontapak Boonpongphanu	ノンタパック・ブーンポンパヌー
Mr. Nachapon Kobchaipanich	ナッチャポーン・コブチャイパニット
Mr. Mohamed Ahmed Mahmoud	モハマッド・アメッドマーモード
Ms. Chadvadee Thanachan	チャッドバディー・タナチャン
Ms. Pattamapon Chansiri	パタマポーン・チャンシリ
Ms. Ponsopit Salwala	ポンソピット・サンワラー
Ms. Suwapat Nuangniew	スワパット・ヌアンニウ
Ms. Napasorn Vilas	ナバソーン・ヴィラス

## ◆随行者(3名)

名前	読み	役職
Mr. Pipop Krabuanrat	ピポーン・クラブアンラット	バンコク都都市連携推進課長
Ms. Pimpicha Kerdmanee	ピムピチャー・ケードマニー	バンコク都国際課職員
Ms. Salitip Somkam	サリンティップ・ソムカム	バンコク都庶務課職員

## 2 令和5年度バンコク都高校生訪問団受入事業 全体日程

日付	時間	行程
①5/12 (金)	08:00 10:35-11:00 11:45-15:45 12:00-13:00 13:15-13:45 14:00-14:30 14:45-15:15 15:20-15:40 16:30-17:05 18:00-19:00	中部国際空港着 オリエンテーション 名古屋大学訪問 ・タイ人留学生との昼食会 ・ノーベル賞展示室見学 ・博物館見学 ・名古屋大学説明（学位取得プログラム説明） ・図書館見学 副知事表敬訪問 夕食  ＜宿泊：アイリス愛知＞
②5/13 (土)	09:15-10:30 11:00-14:00 11:00-12:00 12:00-14:00 14:55-17:10 17:40-18:50	日泰寺見学 大須観音、大須商店街散策 ・愛知県高校生との昼食会 ・愛知県高校生との大須観音、大須商店街散策 愛知県高校生とのディスカッション 夕食  ＜宿泊：アイリス愛知＞
③5/14 (日)	終日	ホームビジット  ＜宿泊：アイリス愛知＞
④5/15 (月)	10:30-16:05 10:30-11:00 11:15-12:20 12:40-13:00 13:00-14:05 14:15-15:20 15:30-16:05 17:00-18:00	愛知県立一宮西高等学校訪問 ・オリエンテーション ・国際理解コースの教室で設定科目「国際英語」前半受講 ・昼食 ・国際理解コースの教室で設定科目「国際英語」後半受講 ・弓道及び箏曲体験 ・クロージングセレモニー 夕食  ＜宿泊：アイリス愛知＞
⑤5/16 (火)	09:50-11:15 12:00-12:50 13:00-14:00 14:30-16:30 17:30-18:30	国際連合地域開発センター訪問 昼食 トヨタ会館訪問 株式会社メイドー訪問 夕食  ＜宿泊：アイリス愛知＞
⑥5/17 (水)	09:50-10:50 12:00-13:00 13:30-16:00 17:00-19:00	もりの学舎訪問 昼食 ジブリパーク訪問 夕食  ＜宿泊：東横 INN 中部国際空港Ⅱ＞
⑦5/18 (木)	08:00 11:00	ホテルチェックアウト 中部国際空港発

### 3 行程の詳細

【1日目 5月12日（金）】

◇8：00 TG644便で中部国際空港着

◇10：35～11：00 オリエンテーション

- ・ 随員職員：橋爪担当課長、小笠原課長補佐、坪井主事、ライオン国際交流員
- ・ 使用言語：英語



オリエンテーションでは、愛知県から本プログラムの説明をし、高校生から自己紹介を行いました。高校生たちは、来日したばかりでしたが、疲れを見せず自己紹介をしました。

◇11：45～15：45 名古屋大学（名古屋市千種区）

- ・ 随員職員：坪井主事、ライオン国際交流員
- ・ 使用言語：日本語、英語、タイ語（日タイ通訳：狛氏）
- ・ 主な内容：11：45～13：00 タイ人留学生との昼食会  
13：15～13：40 ノーベル賞展示室見学  
14：00～14：30 博物館見学  
14：45～15：15 大学説明（学位取得プログラム説明）  
15：20～15：40 図書館見学



◇16：30～17：05 副知事表敬（県議会議事堂1階ラウンジ）

- ・県側出席者：古本副知事、舛田国際監、木俣課長、橋爪担当課長
- ・使用言語：日本語、タイ語（日タイ通訳：粕氏）
- ・主な内容：ピポーン都市連携推進課長あいさつ（タイ語）

高校生代表あいさつ

訪問団員自己紹介

副知事あいさつ及び質疑応答

記念写真撮影、記念品贈呈（フォトフレーム及び招き猫小物入れ）



ピポーン都市連携推進課長からは「今回の訪問実現に際し、副知事と県職員に感謝している。新型コロナウイルス感染症の影響で3年止まっていた高校生の相互訪問の再開を待ち望んでいた。参加したバンコク都高校生に新たな気づきがあることを祈念する。」とご挨拶があり、高校生代表も「愛知県への訪問を3年間待ち続けた。教室を飛び出し、屋外で色々と学ぶことができ大変嬉しい。今後活かせるよう、たくさん学びたいと思う。また、愛知の高校生に会えるのを今から楽しみにしている。」と意気込みを述べました。

その後の質疑応答で、高校生たちは古本副知事へ積極的に質問をしており、今回のプログラムに対する意欲を感じました。

【2日目 5月13日（土）】

◇9：15～10：30 日泰寺訪問（名古屋市千種区）

- 随員職員：坪井主事、ライオン国際交流員
- 使用言語：日本語、タイ語（日タイ通訳：粕氏）
- 概要：本堂を見学し、日泰寺の設立の経緯やタイとの関係などの説明を受けた。



◇11：00～14：00 大須観音、大須商店街散策（名古屋市中区）

- 随員職員：坪井主事、ライオン国際交流員
- 使用言語：日本語、英語
- 概要：県内高校生と昼食を取り、大須観音及び大須商店街を散策した。



◆参加してくれた愛知県内高校生の感想（アンケートからの抜粋）

- ◇ 自由にタイの子達と話せてとっても楽しかった。
- ◇ 名古屋の文化について捉え直すことが出来た。また、その魅力をタイの高校生に伝えられたので良かった。
- ◇ 日本の文化を英語で説明するのは難しかったが、いい経験になった。
- ◇ タイの方達が行きたいところを自由に散策したり、様々なお店に行ったりして、とても有意義な時間を過ごせた。

◇14:55~16:10 英語ディスカッション（愛知県国際交流協会）

- 出席職員：橋爪担当課長、小笠原課長補佐、坪井主事、ライオン国際交流員
- 使用言語：英語
- 概要：あいちスーパーイングリッシュハブスクールの生徒と英語でディスカッションを行った。テーマは「環境」で、7つのチームに分かれ、日常生活における身近な環境課題を話し合い、その課題を解決するために、グループで決めた一番大切な活動をPRするポスターを作成した。



◆参加してくれた愛知県内高校生の感想（アンケートからの抜粋）

- ◇ 国が違くと違う考えがあることを学んだので、今の私の考えのみが当たり前と思わずに海外の人とは交流をしたい。
- ◇ 普段の学校生活では体験できないようなとても貴重で有意義なものだった。
- ◇ 環境問題ではなく、文化的な違いについての交流の方が充実したのではないかと感じた。
- ◇ 基本的な英語を使っても会話はできることが分かったのでこれからも自信を持って様々な人とコミュニケーションをとっていきたい。
- ◇ まだまだ自分の英語力の未熟さを実感したとともに、以前よりももっと英語で会話をしたという思いが増した。



【3日目 5月14日(日)】

◇終日 ホームビジット

今年度は、計12家庭にご協力いただき、ホームビジットを行いました。お城・お寺・神社を訪れるなど日本の伝統や文化に触れたり、ご家庭で日本ならではの料理を楽しんだり、ホストファミリーの方々には様々な形で歓迎していただいたようです。お別れの時には、別れを惜しんで涙を流したり、写真を撮影したりして、充実した時間を過ごしたことがうかがえました。

【4日目 5月15日(月)】

◇10:30~16:05 愛知県立一宮西高校訪問(一宮市萩原町)

- ・ 随員職員：坪井主事、ライオン国際交流員
- ・ 使用言語：日本語、英語、タイ語(日タイ通訳：粕氏)
- ・ 主な内容：

10:30~11:00	オリエンテーション
11:15~12:20	国際英語の授業受講
12:20~13:00	生徒との昼食交流会
13:00~14:05	国際英語の授業受講
14:15~15:20	弓道及び箏曲体験
15:30~16:05	クローリングセレモニー



一宮西高校の訪問では、英語と弓道及び箏曲の授業を受講しました。授業では英語を使ってゲームをしながら SDGs を学ぶことで、日本とタイの生徒が交流する機会を設けていただきました。はじめは緊張した様子だった生徒たちも、授業が進むにつれて打ち解けていました。弓道及び箏曲体験では、初めて目にする弓矢や琴を手に取り体験しました。また、名古屋テレビ（メーテレ）に交流の様子を取材してもらいました。生徒たちは少し緊張した様子で取材に応じていました。

【5日目 5月16日（火）】

◇9：50～11：15 国際連合地域開発センター訪問（名古屋市中村区）

- ・ 随員職員：坪井主事
- ・ 使用言語：日本語、タイ語（日タイ通訳：粕氏）
- ・ 概要：国際連合地域開発センターの概要、活動内容。SDGs の解説や日本における取組について説明を受けた。



◇13：00～14：00 トヨタ会館訪問（豊田市トヨタ町）

- ・ 随員職員：坪井主事
- ・ 使用言語：日本語、タイ語（日タイ通訳：粕氏）
- ・ 概要：トヨタ会館では、新型車両や環境への取り組みについての展示などを自由に見学した。



◇14：25～16：40 株式会社メイドー訪問（豊田市三軒町）

- ・ 随員職員：坪井主事
- ・ 使用言語：日本語、タイ語（日タイ通訳：粕氏）
- ・ 概 要：会社概要の説明を受けた後に、工場見学及びタイ人社員との懇談を行った。



株式会社メイドーの訪問では、工場見学及び社員との懇談をしました。工場見学では、ボルト等の製造工程を順番に見学させていただきました。生徒たちは普段見ることができない工場内部に興味津々で見学をしていました。また、タイ人社員との懇談では、日本の生活や経験をタイ語で直接聞くことができ、生徒たちも積極的に質問をしていました。

【6日目 5月17日（水）】

◇9：45～10：50 もりの学舎訪問（長久手市茨ヶ廻間乙）

- ・ 随員職員：坪井主事、ライオン国際交流員
- ・ 使用言語：英語、タイ語（日タイ通訳：粕氏）
- ・ 概 要：森の案内人・インタープリターとともに愛・地球博記念公園内の森に入り、五感と想像力を使ったあそびを通じて自然と触れ合うアクティビティを行った。



◇13:30~16:00 ジブリパーク訪問（長久手市茨ヶ廻間乙）

- 随行職員：坪井主事、ライオン国際交流員
- 使用言語：日本語、タイ語（日タイ通訳：粕氏）
- 概要：ジブリパークについて説明を受けた後に「ジブリの大倉庫」を自由観覧した。



ジブリはバンコク都でも非常に人気が高く、生徒たちは写真を撮影したり、お土産を購入したりしてジブリの世界を満喫していました。

【7日目 5月18日（木）】

◇11:00 TG645便で中部国際空港発

- 随行職員：橋爪担当課長、小笠原課長補佐、坪井主事、ライオン国際交流員
- 使用言語：英語

1週間の滞在を終えた生徒たちは、訪問先での体験や人との出会いを通して、様々なことを学び帰国しました。生徒たちは、「今回のプログラムへ参加して良かった。もっと日本でいろいろな経験をしたい。」と話していました。今回の経験が良い刺激となり、学生たちが将来、グローバル人材として世界で活躍し、バンコク都と愛知県の懸け橋となっただけの事を祈っています。



## 【参考】 バンコク都高校生参加者アンケート(まとめ)

※対象人数：13人（【 】内は回答数）

問1. どうして今回の交流事業に参加しようと思いましたか？（複数選択可）

- (1) 国際交流に興味があるから【 6 】
- (2) 日本に興味があるから【 9 】
- (3) 家族や学校の先生に勧められたから【 0 】
- (4) その他（環境学習に興味があるから）【 1 】

問2. 今回の訪問先の中で印象に残ったところはどこですか？（3つまで選択可）

a. 名古屋大学【 3 】

主な理由：図書館は生徒たちが勉強に集中できる環境が整えられており興味深かった。  
名古屋大学がどのように教育の質を維持しているかを知ることができた。

b. 副知事表敬訪問【 2 】

主な理由：環境問題とその解決法について議論できた。

c. 日泰寺【 0 】

d. 大須観音・大須商店街【 8 】

主な理由：日本人の高校生と友達になり、たくさんの良い思い出を作ることができた。  
今までに見たことがない日本のお土産や食べ物を買うことができた。

e. 英語ディスカッション【 4 】

主な理由：日本の高校生と話し、新しい友達ができた。  
人生ではじめて多くの日本の人々と話すことができた。

f. ホームビジット【 10 】

主な理由：日本の文化や生活を知ることができた。  
ホストファミリーが今まで行ったことがない場所へ連れて行ってくれた。  
ホストファミリーが非常に親切で良い思い出ができた。

g. 一宮西高等学校【 6 】

主な理由：日本とタイの高校の違いを知ることができた。  
日本の学生がどのように勉強しているかを知ることができた。  
日本の学生が親切でどのようにゲームを進めるか教えてくれた。  
日本の学生と会話を楽しみ、友達になれた。

h. 国際連合地域開発センター【 1 】

主な理由：日本がどのように環境を扱っているかに関する新しい考え方をたくさん知ることができた。

i. トヨタ会館【 1 】

主な理由：車が好きなのでセーフティシミュレーターが楽しかった。

j. 株式会社メイドー【 2 】

主な理由：工場見学ははじめての経験で自動車部品の製造過程を知ることができた。

k. もりの学舎【 0 】

l. ジブリパーク【 2 】

主な理由：子供のころからジブリアニメに興味がある。

まるで今まで見てきた映画の中にいるような経験ができた。

問3. 以下のプログラムの感想を記入してください。

(1) 一宮西高等学校訪問

- ・このプログラムに参加しなければ経験できなかった日本の高校や高校生の生活、勉強方法を知ることができた。
- ・日本の学校の雰囲気非常喜欢になった。日本の学校は平和的で綺麗だった。
- ・一番良いプログラムだった。どのように日本の遊びに適応するか等、多くのことを学ぶことができた。
- ・弓道や琴のような日本の伝統文化を体験し、学ぶことができた。
- ・日本の学生とSDGsゲームをしながら、会話を楽しみ、新しい友達を作ることができた。
- ・一宮西高校の生徒たちはみんなフレンドリーだった。
- ・もっと外での体を動かすアクティビティを取り入れた方が良かったと思った。

(2) 県内高校生との英語ディスカッション

- ・環境に関する様々な意見や自分たちが何を考えているかを共有できた。
- ・日本の高校生と英語を使って話すことで、コミュニケーションスキルや文化の違いを学ぶことができた。
- ・はじめは言語の壁でコミュニケーションを取ることが難しかったが、最後には上手くコミュニケーションを取ることができた。良いチームワークだった。
- ・日本の高校生と話せて楽しかった。
- ・どこでどのように育ったかによってどれだけ考え方が違うかを知ることができて興味深かった。
- ・日本の生徒たちは親切だった。参加者全員が責任を持ってグループワークに取り組み、団結してプレゼンテーションを作り上げることができた。
- ・環境に関するディスカッションは非常に楽しかった。時間が足りなかったので、次回このような機会があれば、もっと時間が欲しいと思った。

(3) ホームビジット

- ・多くの新しい経験ができたので、今回の訪問の中で一番楽しかった。  
ホストファミリーと過ごすことで日本の文化をより多く知ることができた。
- ・ホームビジットは非常に良かった。お互いを知り、絆を築くには時間が足りなかった  
ので、ホームスビジット先で1泊できた方が良かった。
- ・一番良いプログラムだった。ホストファミリーは非常に良くしてくださり、たくさん  
の素晴らしい場所と自宅に連れて行ってくれた。今でも連絡をとりあっており、  
いつかまた会いたい。
- ・ホストファミリーが大好きだ。ホストファミリーはあまり英語が話せなかったが  
積極的に話しかけてくれた。美味しい料理も作ってくれた。
- ・日本とタイの文化の違いをたくさん学ぶことができた。

問4. 滞在期間中、困ったことや不便に感じたことがあれば、記入してください。

- ・コミュニケーションを取ることが難しかった。私は少し日本語を知っているので  
少し過ごしやすかった。
- ・ホストファミリーともう1日過ごしたかった。

問5. このような交流事業を来年以降も実施することを検討していますが、どのような  
プログラムがあると良いと思いますか？チェックしてください（いくつでも）。

- (1) 博物館や美術館などの訪問【 5 】
- (2) 伝統芸能の鑑賞・体験【 5 】
- (3) 地元企業の訪問【 8 】
- (4) 高校生や大学生との交流【 9 】
- (5) ホームステイ【 12 】
- (6) その他【 2 】(古典的建築物、地元の市場や商店街)

問6. 愛知県の魅力はどんなところだと思いますか？

- 〔 食べ物【 6 】、 町の綺麗さや構造【 4 】、 文化・歴史【 4 】、 産業【 3 】 〕

問7. 全体について、感想を記入してください。

- 素晴らしいプログラムだった。愛知県は他に負けないような県なので、もっと多くの人が愛知県を知るべきだと思う。
- 素晴らしいプログラムだったが、プログラムの中に環境の内容が含まれていないものがあった。

- 人生で一番良い経験だった。このプログラムを通じて友達の作り方を学び、自信がついた。また、日本の人たちと話すことで日本語の練習や勉強ができて良かった。
- 全てのプログラムが非常に良かった。多くの人たちに出会い、色々な場所に行き、非常に良いものを購入した。もし、できるのであれば、また参加したい。
- このプログラムは今までの人生で一番良い思い出の一つだ。絶対に忘れません。たくさんの友達ができ、彼らは環境への配慮と日本語の勉強を続ける刺激となった。いつの日かまた会いたい。
- もし、家族や友達と日本を訪れたら食べることがないような美味しい料理を食べることができた。また、愛知県について多くのことを学び、このプログラムに参加しなければ知ることがなかったであろう日本の伝統を知ることができた。
- このプログラムを通じて自立することができて、さらに自信を持つことができた。
- 人々、気候、食べ物、全てが印象的だった。いつかまた戻ってきたい。
- 全てのプログラムが印象的だった。今まで見たことがないものを学び、新しい友達ができ、愛知県ならではの料理は全て美味しかった。初めて日本を訪れたが、さらに日本の文化と言葉に興味を持った。
- 全体的に非常に良かったが、ホストファミリーと一緒に過ごす時間がもっと長い方が良かったと思った。
- このプログラムに参加して成長することができた。また、この旅は私が疑問に思っていたことに対する回答になった。今後忘れることができない一番の思い出であるこのプログラムにありがとうと言いたい。